

芸能・メディア分野における ハラスメントや圧力問題についての実態調査(概要版)

本調査の目的

- ▶2023年、芸能やメディアの分野において、出演者、事務所、そのほか社員やスタッフ間における、ハラスメントや圧力・忤度の問題が大きく報じられた。
- ▶ただし、ハラスメントの改善について考えた場合、現時点で全ての事例が把握されているわけでもなければ、あらゆる分野の問題が可視化されたわけではない。
- ▶また、旧ジャニーズ事務所における性暴力の問題については、NHK および民放各局がそれぞれ調査や報道を行ったが、他の事務所などとの問題や、圧力や忤度、有害な商慣行についての調査は行われていない。
- ▶そこで今回の調査では、より広くメディア業界および芸能分野に呼びかけ、ハラスメントおよび圧力などの実態調査を行うことにした。
- ▶※なお、本調査に先駆けては、一般社団法人民間放送連盟、日本放送協会、一般社団法人雑誌協会、一般社団法人新聞協会、一般社団法人音楽事業者協会、一般社団法人日本音楽制作者連盟、一般社団法人マスコミ倫理懇談会全国協議会、一般社団法人日本レコード協会、一般社団法人日本映画製作者連盟、株式会社 SMILE-UP、放送倫理・番組向上機構、宝塚歌劇団、阪急電鉄株式会社など、各団体に、横断調査を主体的に行うよう要望を行ったが、いずれも回答は消極的なものであったか、無回答であった。

調査期間

- ▶Google form で作成した質問紙を 2023年11月7日から2024年1月19日の期間にウェブ上で実施した。

調査参加者

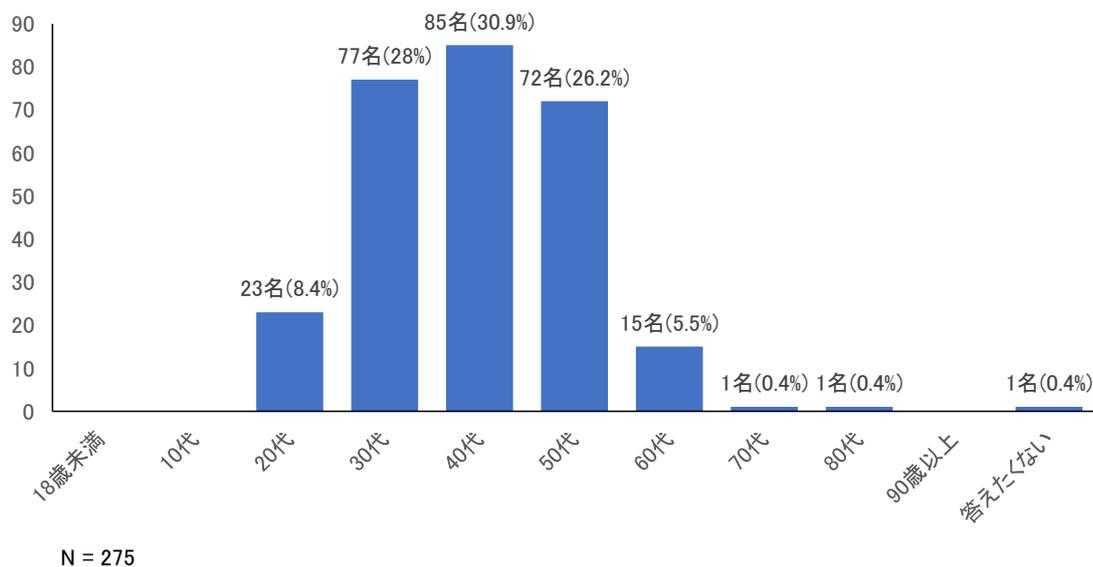
- ▶調査対象者は、媒体の種類や活動の範囲、事務所の大小問わず、芸能や報道分野、メディア分野に仕事として携わるすべての人であった。
- ▶アンケート回収を行なったうち、最終的な分析対象者は 275名 (男性 97名; 35.3%、女性 161名; 58.5%、その他 12名; 4.4%、答えたくない 5名; 1.8%) であった。

倫理的配慮

- ▶調査結果および個人情報の取り扱い、調査参加の任意性について同様に調査冒頭のページにおいて説明した。特に、調査結果は回答者が特定され不利益を被ることがないように配慮した上でウェブサイトへの掲載、会見、プレスリリース、研究、出版、報道、政治家やメディア関係者などへの要望の場面など、さまざまな情報発信に活用される可能性があることを説明した。
- ▶また、本調査は特定団体や個人を晒すものではなく、業界風土の改善を促すためのものであるから、フォームに寄せられた固有名詞などについては、必要と判断する限りにおいて処理を行った。その際、処理を行った旨は明記するようにした。

年代 (age)

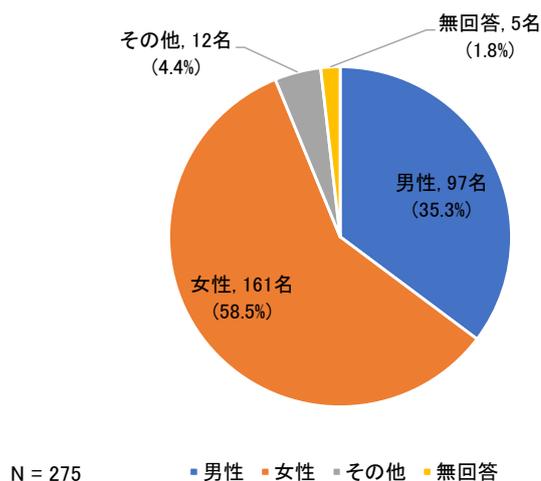
本調査における参加者の年齢層の最頻値ならびに中央値は40代であり、全参加者の約3割がこの年齢層に分布しており（85名、30.9%）、続いて30代（77名、28.0%）、50代（72名、26.2%）の回答者が多かった。



図：参加者の年齢層ごとの人数と全体割合のヒストグラム

性別 (gender)

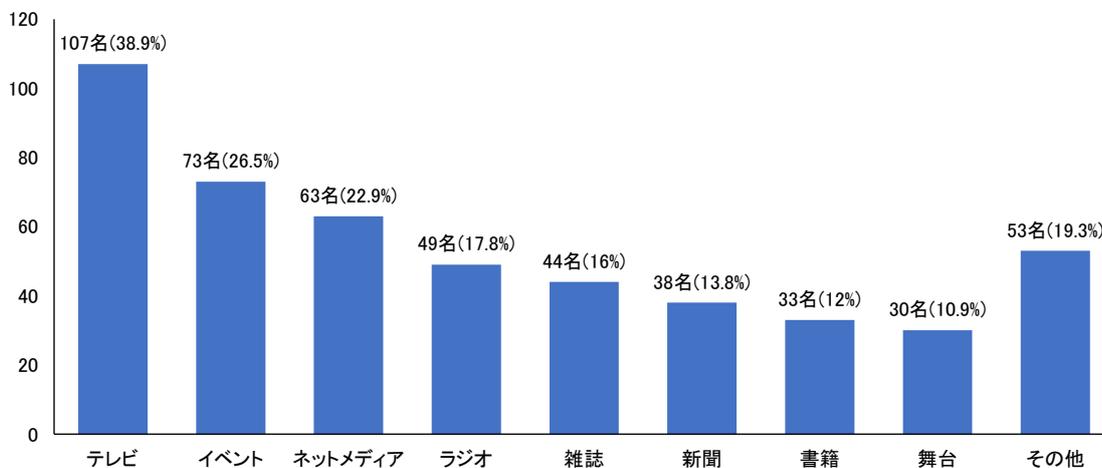
参加者のうち、男性が35.3%（97名）、女性が58.5%（161名）、その他と回答した人が4.4%（12名）、答えたくないと回答した人（無回答）が1.8%（5名）であった。



図：参加者の性別ごとの人数と割合

活動分野 (field)

活動分野に「テレビ」を選択した参加者が最も多く（重複回答あり）、全体の約4割だった（107名, 38.9%）。



注1) 重複回答あり。

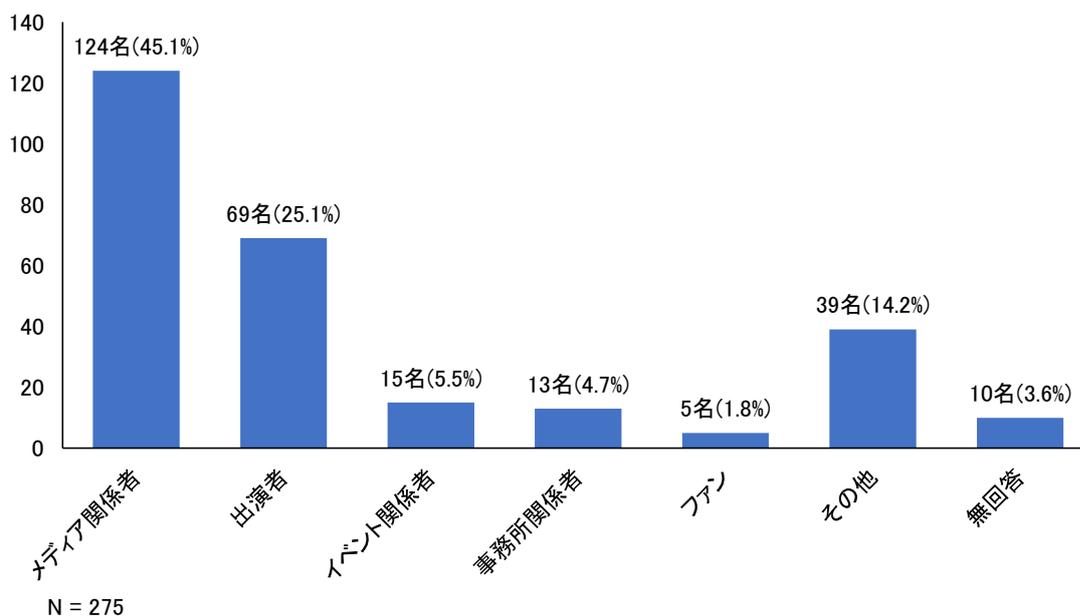
注2) 「その他」で件数の多かった「舞台」は調査終了後に再カテゴリー化して集計を行った。

N = 275

図：参加者の活動分野ごとの人数と全体割合のヒストグラム

立場 (position)

参加者のうち、メディア関係者の参加者が最も多く、全体の半分近くを占めていた（124名, 45.1%）。



N = 275

図 4. 参加者の立場ごとの人数と全体割合のヒストグラム

Q1. 出演・取引禁止に関する経験

「出演・取引の禁止（いわゆる「干す」）などの「圧力」をかけられたことがあるか」

Q1. 出演・取引禁止に関する経験

	ある	ない	わからない	答えたくない
出演・取引禁止の圧力をかけられた経験	123名(48.2%)	103名(40.4%)	28名(11%)	1名(0.4%)
出演・取引禁止の圧力をかけた経験	18名(7.1%)	220名(86.3%)	15名(5.9%)	2名(0.8%)
出演・取引禁止の圧力を目撃した経験	119名(46.7%)	107名(42%)	27名(10.6%)	2名(0.8%)
出演・取引禁止の圧力の事例を聞いた経験	176名(69%)	57名(22.4%)	20名(7.8%)	2名(0.8%)

N = 255

事例の一部

2016年、「●●※グループ名」解散時に事務所離脱者を出演させないように圧力があつたと聞きました(30代女性・メディア関係者)
40年前ぐらいからつい最近まで、ある事務所のタレントに競合する他社の男性アイドルグループを共演NGなどの方法で番組に出さないよう圧力をかけていた。(60代男性・事務所関係者)
政権批判のコメンテーター切れと言う報道幹部と会社トップの指令(50代女性・イベント関係者)
つい最近、ただ舞台の宣伝に他の出演者と「●●※テレビ局名」のワイドショーのVTRを撮影したら、私が政治的発言をしているからと、他の出演者と差し替えになり、取り直しをさせられました。(60代男性)
2017年頃 番組出演者として「●●※事務所名」から独立したばかりのタレントにオファーしようとしたら、局内から「1年は待った方がよい」とストップがかけられた。また、別の大手事務所から独立したタレントに関しても、同僚が出演を提案したが上司からストップがかかった。(30代女性・メディア関係者)
25、6年ほど前(1998年ごろ) 地方局のアナウンサーから東京でフリーランスになったばかりのころ、友人(以前の仕事では私の番組にとってのスポンサーの営業ウーマン達)が関東のFM局の営業部長を紹介してくれた際、はっきりと「俺と寝る人には仕事をあげている。○○という番組の○○さんもそうだ」とその友人達の前で言われた。(50代女性・出演者)
今から10年くらい前、私自身、性的関係を持たなければ仕事はやらないと言われました。そのままホテルへ半ば拉致されました。(40代女性・その他)
2.3年前、某テレビ局の喫煙所にて、ドラマのプロデューサー(1番偉い立場の方)が大手事務所のマネージャーか社長?に「あと10人はうちから使ってもらわないと、○○はもう使わせませんよ」みたいな会話をしていた。(30代女性・事務所関係者)
2018年頃。芸能事務所から、このライターは使うなと圧力をかけられた。(50代女性・メディア関係者)

Q2. 報道規制の圧力に関する経験

「不都合な内容についての報道規制の要求などの「圧力」をかけられたことがある」

Q2. 報道規制の圧力に関する経験

	ある	ない	わからない	答えたくない
報道規制の圧力をかけられた経験	100名(39.2%)	119名(46.7%)	34名(13.3%)	2名(0.8%)
報道規制の圧力をかけた経験	10名(3.9%)	233名(91.4%)	12名(4.7%)	0名(0%)
報道規制の圧力を目撃した経験	106名(41.6%)	109名(42.7%)	36名(14.1%)	4名(1.6%)
報道規制の圧力の事例を聞いた経験	154名(60.4%)	73名(28.6%)	25名(9.8%)	3名(1.2%)

N = 255

事例の一部

2004年の「●●※事務所名」性加害の最高裁認定で、同僚が芸能系の部局もあるのであまり書けないと話していた。(40代男性・メディア関係者)
5年ほど前、担当している書籍の中の記述で、会社から削除を命じられました。2年前にも同様に削除を求められました。会社も上司も訴訟リスクを避けることしか考えておらず、失望しています。(40代女性・メディア関係者)
「●●※媒体名」にいた時代。98年に掲載した「●●※個人名」の独占インタビューに関して、「●●※事務所名」がタイトルなどが気に入らないと激怒。その後10年以上にわたって、「●●※媒体名」は一切、「●●※事務所名」のタレントの取材ができませんでした。「●●※事務所名」以外のタレント、俳優の取材でも、同じ会見などに「●●※事務所名」のタレントが出席していればその会見には出席できないというほど、厳しいものでした。(50代女性・メディア関係者)
数年前、「●●※事務所名」所属のタレントを使ったイベント取材で、紙面は写真掲載可だが、ネット上の記事は写真不可と主催者へ申し入れ。(50代女性・メディア関係者)
昨年、こんなことを記事にしたらどうなるかわかりませんよ、と役所の人に言われたが無視した。(30代女性・メディア関係者)
政治家による会社幹部を通じた圧力(40代女性・メディア関係者)
1990年頃から、大手を辞めたタレントについては記載、掲載できない。(50代女性・メディア関係者)
2022年ごろ、ラジオ局から収録直前に『放送期間中はちょうど選挙期間中なので、特定の政党を応援するような発言はSNSなどのプラットフォームでも控えてほしい』と言われた。そんな話は事前の契約にもなかったのが驚いたが、その時は仕事を干されるかも…と応じてしまった。(出演者)
90年代、某事務所からの圧力でCDを出せなかったアーティストを知っています。(50代女性・事務所関係者)
「●●※事務所名」などに限らず、力を持った芸能事務所がメディアに圧力をかけるのは昔も今も日常茶飯事。とくに最近はメディアの力が落ちているため、メディアがそうした要求に対して強く対抗できなくなっている。(40代女性・メディア関係者)

Q3. 自粛や忖度に関する経験

「明示的に要求されたわけではないが、特定の個人や組織、団体に対して過度な配慮（自粛や忖度）をしたことがある

Q3. 自粛や忖度に関する経験

	ある	ない	わからない	答えたくない
自粛や忖度をした経験	119名(46.7%)	97名(38%)	36名(14.1%)	3名(1.2%)
自粛や忖度を受けた経験	61名(23.9%)	141名(55.3%)	53名(20.8%)	0名(0%)
自粛や忖度を目撃した経験	158名(62%)	54名(21.2%)	43名(16.9%)	0名(0%)
自粛や忖度の事例を聞いた経験	186名(72.9%)	39名(15.3%)	29名(11.4%)	1名(0.4%)

N = 255

事例の一部

必要以上に心配して自粛を求めてくる上司は事例に事欠かない。(40代男性・メディア関係者)
「●●※事務所名」事件。被疑者を○○メンバーと表現させられた。(70代男性・出演者)
「●●※事務所名」についてのタブーや、固い「●●※事務所名」枠(「●●※事務所名」を出演させなければならない決まりごと)などについては聞いていました。(50代女性・出演者)
「●●※政党名」幹部による「お前には情報を流さない」という圧力(40代男性・メディア関係者)
2010年代 男性アイドルアニメの企画でイベントやCDリリースをする流れで「●●※事務所名」の領域に競合してない理由つけをするため2.5次元など理由をつけて進めてました(40代男性・メディア関係者)
今年、「●●※事務所名」の性被害報道をめぐって、自主規制的な動きがあった(40代男性・メディア関係者)
1年以内、「●●※事務所名」に対しての忖度が行われた。 経営者に対しての忖度も横行し関係者に対しての報道に手心が加えられている。(40代男性・メディア関係者)
ある性暴力の件で告発しようとした俳優の所属事務所が大手だったため、ここについては報道しにくいという空気になっていたのを目撃した。(30代女性・出演者)
2000年頃から某スポーツ業界で、某団体に頼まれた宣伝なのを隠して、あたかも普通の記事のように書いたことがある。また、他にもそのような者がいる。いわゆるステマ記事。(40代男性・メディア関係者)
2010年代はじめ、「●●※団体名」の「●●※個人名」氏が喜ぶから、という理由で売り出し中の若手男優が少人数が食事会によく駆り出されていた。彼も顔を売る意味ではウィンウィンなのか、と当時は思っていたが、気味が悪かった。(30代女性・その他)
「●●※協会名」に加盟しているか否かが扱いのベクトル(60代男性・メディア関係者)

Q4. 過剰な接待に関する経験

「必要以上に豪華な、相場を大きく上回る過剰な接待を要求されたことがある」

Q4. 過剰な接待に関する経験

	ある	ない	わからない	答えたくない
過剰な接待を要求された経験	39名(15.3%)	189名(74.1%)	24名(9.4%)	3名(1.2%)
過剰な接待を要求した経験	1名(0.4%)	245名(96.1%)	8名(3.1%)	1名(0.4%)
過剰な接待を接待をした経験	23名(9%)	211名(82.7%)	20名(7.8%)	1名(0.4%)
過剰な接待を接待を受けた経験	28名(11%)	208名(81.6%)	17名(6.7%)	2名(0.8%)
過剰な接待を見聞きした経験	116名(45.5%)	94名(36.9%)	44名(17.3%)	1名(0.4%)

N = 255

事例の一部

「●●※事務所名」担の受ける過剰な接待は他部署でも有名(40代男性・メディア関係者)
高級電化製品や現金受け渡し(50代女性・その他)
歌番組において、特定のグループの楽屋だけ、他の出演者とはくらべものにならない位広くて豪華な部屋が用意されていると聞いた(30代女性・メディア関係者)
車を買ってもらったり、マンションは借りてもらっていたり…(50代女性・出演者)
20年前、情報番組のとあるディレクターが「●●※団体名」の取材を独占しており、そのディレクターに頼めば皆招待券をもらえたり、グッズをもらえたりと何かしら融通をきかせてもらっていた。これは他の局、他の番組でもあったと聞いたことがある。(50代男性・メディア関係者)
13年ごろ元請けとなる会社への過剰な接待を目撃した(50代男性・その他)
「●●※事務所名」の新年会は有名だったが、一人1万円のお年玉が過剰かどうかは判らない。(60代男性・メディア関係者)
1998年～2018年くらい？接待が通常だし、「●●※事務所名」は仲良しグループで全て決まるから新規は入れない、紹介がないと関われないと言われていた(40代女性・事務所関係者)
毎年正月には芸プロ幹部から有名演出家たちに超豪華なお節料理の差し入れが自宅に贈られていた。(30代女性・その他)
2018年頃、俳優をもてなすために設けられたクラブでの接待など(20代・出演者)
2008年～15年にかけて ロケ先のホテルの部屋に女性タレントがやってきて「事務所に言われていますから」と帰らなかった事が何度もある。枕営業で有名な事務所があった。(60代男性・メディア関係者)
常に男達にセックスを要求される。(20代女性・出演者)
テレビ局の幹部から打ち合わせとして呼び出され、女性が接待する高級クラブへ行った。(30代男性・その他)
芸能ではなくて政治家だが、90年代までは好色で有名な政治家が女性記者をプールに集めたパーティなどをしていたと聞いた。また、あるテレビの政治記者が、「●●※ブランド名」のネックレスをしていたが、それは政治家から買ってもらったと聞いた。(40代女性・メディア関係者)

Q5. 不当な接待に関する経験

例「急な呼び出しや無茶な命令の強要など、強制的で不当な接待を要求されたことがある」

Q5. 不当な接待に関する経験

	ある	ない	わからない	答えたくない
不当な接待を要求された経験	109名(42.7%)	127名(49.8%)	18名(7.1%)	1名(0.4%)
不当な接待を要求した経験	6名(2.4%)	235名(92.2%)	13名(5.1%)	1名(0.4%)
不当な接待を接待をした経験	32名(12.5%)	200名(78.4%)	21名(8.2%)	2名(0.8%)
不当な接待を接待を受けた経験	41名(16.1%)	194名(76.1%)	19名(7.5%)	1名(0.4%)
不当な接待を見聞きした経験	130名(51%)	86名(33.7%)	36名(14.1%)	3名(1.2%)

N = 255

事例の一部

2005～10年頃。女性スタッフ（非正規）を連れて飲み会の呼び出し多数。断ると次の日や後々仕返しを受ける。 芸能部門やドラマ部門では度を越したこうした接待が武勇伝や後輩教育として吹聴されていた。(40代男性・メディア関係者)
大きな芸能の祭典番組の後、先輩が、大御所歌手の事務所の、夜を徹した打ち上げに、断れずに参加させられていた。(40代女性・出演者)
25年前くらいから今まで、力のない個人や事務所は大きな会社の要求にはNOと言えません。(50代男性・出演者)
2003年ごろ、編集プロダクションからの急な呼び出し、および深夜早朝の3時間ほどに及ぶ言いがかりや叱責(50代女性・メディア関係者)
政治家による土日の強制呼び出し(40代男性・メディア関係者)
2018-19年頃、社長とプロデューサーからの連絡に対して30秒ほどで反応しなければ今後仕事を与えないというルールに対応していた(ただし両者の気分で変わる)(40代・出演者)
5年ほど前、仕事をいただいていた会社の社長に夜中に呼び出され、何かと思ったら飲みの席だった。電車は無かったのでタクシーで行き、お酌をさせられ、帰りには後ろから抱きつかれ、卑猥な発言もされた。(40代女性・その他)
スポンサーに対しての、女性アナを伴った接待。局の営業担当者が主導した。(40代男性・メディア関係者)
あるあるの話で当たり前すぎて、あの世界は倫理観壊れてます。友人はそのホモソーシャルな世界についていけずに自殺しました。(30代女性・その他)
芸の肥やしにラブホテルに行くべきだと言われ連れて行かれた(20代女性・出演者)
女性記者が夜中になって取材先から呼び出されるという話はよく耳にします。(20代男性・メディア関係者)

Q6. 性的接待と物品やサービスの供与に関する経験

「性的接待を要求されたことがある」「仕事あっせんなどの見返りとして物品やサービスを供与したことがある」

Q6. 性的接待と物品やサービスの供与に関する経験

	ある	ない	わからない	答えたくない
性的接待を要求された経験	58名(22.7%)	176名(69%)	14名(5.5%)	7名(2.7%)
性的接待を要求した経験	1名(0.4%)	250名(98%)	4名(1.6%)	0名(0%)
性的接待をした経験	20名(7.8%)	217名(85.1%)	11名(4.3%)	7名(2.7%)
性的接待を受けた経験	7名(2.7%)	240名(94.1%)	7名(2.7%)	1名(0.4%)
性的接待を見聞きした経験	126名(49.4%)	97名(38%)	30名(11.8%)	2名(0.8%)
サービスを供与した経験	18名(7.1%)	222名(87.1%)	14名(5.5%)	1名(0.4%)
サービスの供与を受けた経験	26名(10.2%)	207名(81.2%)	22名(8.6%)	0名(0%)
サービスの供与を見聞きした経験	94名(36.9%)	121名(47.5%)	39名(15.3%)	1名(0.4%)

N = 255

事例の一部

「●●※役割名」が番組につけて貰うために、会社トップと性的な関係を持つことは複数から聞く。(50代女性・イベント関係者)
体の関係を持つことを要求され、見返りに好条件での仕事をくれるなど。(40代女性)
2012-2020年ごろに、数えきれないほど経験しました。すべて未遂に終わらせましたが、逆恨みは買いましたし、復讐めいたことがその後数年続いたりしました。(50代女性・メディア関係者)
著名な人物が望むので、上司から混浴を要求されたと聞いた(50代女性・メディア関係者)
政治家や官僚による女性記者への不適切な言動(40代男性・メディア関係者)
性的接待の話はありすぎて、どれを書けばいいかわからない。思い出そうとすると辛くなってきたので、いまこの詳細は書けない。(30代女性・出演者)
友達の男性俳優は新作の台本をチラつかせた女性の偉いスタッフの夜の相手をさせられた、役がもらえるならそのくらいのことは頑張れる、と言っていた(40代・出演者)
常にどこでもあります。家庭やパートナーが居ても、有名でも無名でも、金があってもなくても、そのつもりがあってもなくても、倫理観壊れてます。あるある過ぎて何時間でもお喋りできます。書ききれない。(30代女性・その他)
2018年ごろ、同僚の女性記者が取材先の警察幹部にホテル行こうと誘われていました。大企業を取材すると、よくお土産を持たされそうになります。時には数万円するような高価な製品のケースもあります。受け取る人は受け取るみたいです。あと、大企業の中には交通費含めて全額相手持ち、夜は豪華接待付きの取材旅行を組む会社もあります。(20代男性・メディア関係者)
元「●●※団体名」の女優が「●●※個人名」に性接待を強要された(30代女性・イベント関係者)
7~8年前、新聞系の記者に某芸能事務所が取材の見返りとして高級な菓子を土産に渡していた。(40代男性・メディア関係者)
毎年のお中元、お歳暮など(30代女性・出演者)

1990年代、今で言えばレイプ(40代女性・出演者)

Q7. 不当な提案や理不尽な要求の経験

「バーターの押し付け」や「特定事務所の排除」など、不当な提案や理不尽な要求を受けたことがある」

Q7. 不当な提案や理不尽な要求の経験

	ある	ない	わからない	答えたくない
不当な提案や理不尽な要求を受けた経験	59名(23.1%)	161名(63.1%)	32名(12.5%)	3名(1.2%)
不当な提案や理不尽な要求をした経験	8名(3.1%)	235名(92.2%)	11名(4.3%)	1名(0.4%)
不当な提案や理不尽な要求を目撃した経験	72名(28.2%)	150名(58.8%)	29名(11.4%)	4名(1.6%)
不当な提案や理不尽な要求の事例を聞いた経験	119名(46.7%)	105名(41.2%)	30名(11.8%)	1名(0.4%)

N = 255

事例の一部

年末の歌番組で芸能部門が毎年頭を悩ませている(40代男性・メディア関係者)
いま現在、局から事務所に便宜を図るような動きの渦中にある。(40代女性・出演者)
「●●※グループ名」が売れ始めた頃に「●●※事務所名」から横槍が入ったという噂は聞いたことがある。(50代男性・出演者)
「●●※グループ名」や「●●※グループ名」など超人気タレントを表紙で起用するために、他のそれほど売れていないタレントの表紙を要求されたことがある。(50代女性・メディア関係者)
オーディションの型式だとしても、完全に公正に行われることは、滅多にありません。(40代男性・イベント関係者)
2022年ごろ、映画に携わる製作者から、サブキャストは主演の事務所の俳優と決まっているのでキャストイング権が奪われていると聞いた。(30代女性・出演者)
2000年代、「●●※事務所名」、「●●※事務所名」によるバーター(50代女性・その他)
同じ事務所のタレントの起用。出稿企業の商品を大きく扱うこと(40代男性・メディア関係者)
バーターや圧力などは普通のことです。ごくごく当たり前のこと(40代女性・事務所関係者)
2017年私が「●●※テレビ局名」ドラマオーディション合格して出演する際バーターで俳優もしてマネージャーが出演させてと言ったり映画出演する際バーターで出演させてと監督に言って出演した(50代女性・出演者)
この10年くらい、キャストイングの際に大手事務所の俳優を主要キャストにし、他事務所の俳優に主要キャストは配役しないよう言われたという話を少なくとも5回以上聞いた。(30代男性・その他)
バーターや競合事務所の排除は、有名なタレント事務所と付き合う芸能に関連する業界の中では「当たり前」のこととして横たわっているため、出演依頼をする側が交渉時に「当然の気遣い」としてそれらを盛り込んでいる(契約書には明記しない)ような状況(20代女性・イベント関係者)
プロデューサーが、新刊を売りたい作家の番組出演の引き換えに、その出版社で自分の著書を出版してもらおうというのは、いまだに続いている。(50代女性・メディア関係者)
表紙の人選も、事務所広報におうかがいをたてる。また、希望どおりの人気者を掲載するために、バーター的に事務所が掲載してほしい(媒体側があまり希望しない)タレントを扱うことを要求されたりするのがわりと日常的にありました。(50代女性・メディア関係者)

エンタメ業界メディアなどでは、芸能事務所やプロモーター（制作会社）と取引関係にあるので、バーターでのご相談（取り上げてくれ）という案件は常に発生しています。それでファンや消費者の存在を無視したメディアビジネスが成り立っている部分もあります。(50代男性・メディア関係者)

Q8. 身体的な暴力に関する経験

「身体的な暴力の被害を受けたことがある」

Q8. 身体的な暴力に関する経験

	ある	ない	わからない	答えたくない
身体的な暴力の被害を受けた経験	70名(27.5%)	174名(68.2%)	7名(2.7%)	4名(1.6%)
身体的な暴力の加害を行った/加担した経験	12名(4.7%)	234名(91.8%)	9名(3.5%)	0名(0%)
身体的な暴力を目撃した経験	84名(32.9%)	157名(61.6%)	12名(4.7%)	2名(0.8%)
身体的な暴力の事例を聞いた経験	152名(59.6%)	89名(34.9%)	13名(5.1%)	1名(0.4%)

N = 255

事例の一部

身体的なというより、精神的な暴力。言葉の暴力が非常に多かった。男性マネージャーなどから、普通にヤクザ並みの恫喝をされた。(40代女性・メディア関係者)
アシスタントを殴ったことがあります。(50代男性・その他)
民放キー局の「●●※肩書き名」が、部員を殴って、辞任に。ところが、同じ局のコメンテーターとして番組に出演。会社トップに政治家を紹介したり、関係を断てないから。(50代女性・イベント関係者)
自分自身は経験がないが、2011年～2013年ころ、ドラマや番組の制作現場で上司が部下を足でけったり、殴ったりすることがあると聞いた。(30代女性・メディア関係者)
20年前くらい、プロデューサーから暴力を受けたアーティストを複数名知っている。(50代男性・出演者)
2012年～15年、出入りしていたプロダクションでは社長が、仕事で失敗した従業員を土下座させ、鉄拳制裁を行っていた。(50代女性・メディア関係者)
2000年代ごろまでは、ディレクターがADを殴ったり蹴ったりするのは当たり前、日常茶飯事だったと聞く。現在はほとんど見なくなったが、言葉の暴力は未だに横行している。(20代・メディア関係者)
2010年ごろ、テレビ局の社員が先輩からゴコゴコに殴られて青あざだらけの顔をしていた(40代女性・メディア関係者)
アナウンサー事務所の男性の先輩に「飲みにつき合え」と言われ、仕方なく行ったら、性的な質問をされ、手を舐められた(暴力だと認識しています)。(50代女性・その他)
2010年代から今までも、ある有名劇団では演出家による俳優への暴力が起こっている(パワハラ、性被害も含め)(30代女性・出演者)
結構、画面外では乱暴なタレントさんがいます。(60代男性・メディア関係者)
家に帰れないくらい働く、眠れないくらい働くとか、忙しすぎて病気になって早死にしたとか、間接的な暴力です。(30代女性・その他)
よく殴られてる人もみだし、私自身も尾酒の席で足指を舐められたことがあるが、おもしろいねえのようなノリで気持ち悪かった(40代女性・事務所関係者)
演出家から稽古場での暴力(50代女性)

5年ほど前。仕事でうまくいかなかった時、「頼むよー!!!」と言われて強めに拳で腕を叩かれた。(30代女性・出演者)

Q9. セクハラや性暴力に関する経験

「セクハラや性暴力の被害を受けたことがある」

Q9. セクハラや性暴力に関する経験

	ある	ない	わからない	答えたくない
セクハラや性暴力の被害を受けた経験	131名(51.4%)	110名(43.1%)	12名(4.7%)	2名(0.8%)
セクハラや性暴力の加害を行った/加担した経験	10名(3.9%)	218名(85.5%)	27名(10.6%)	0名(0%)
セクハラや性暴力を目撃した経験	116名(45.5%)	114名(44.7%)	22名(8.6%)	3名(1.2%)
セクハラや性暴力の事例を聞いた経験	197名(77.3%)	44名(17.3%)	12名(4.7%)	2名(0.8%)

N = 255

事例の一部

記者が政治家、警察関係者らから密室で性被害を受けた(及び、被害を受けそうになり逃げた)話は枚挙にいとまがない。(40代女性・出演者)
2015年頃、事務所のマネージャーからの卑猥な発言などの嫌がらせなど(40代女性・メディア関係者)
2021年から2022年ごろ、社内で立場が上の男性社員が、女性スタッフの写真を無断で撮影し、その女性スタッフのことを気に入っているという、第三者の男性に「おかず」として送ると言った。(30代男性・メディア関係者)
2010年代、直属の上司と飲みに行った際、「ハンドクリームを塗ってあげる」と言われて手をなで回されて非常に不快だったが流してしまった。他にも女子社員・男性社員どちらにもセクハラ的な質問(パートナーとの性行為について探るような質問)がされている場面を目撃しても止めなかったことは複数あり、加担してしまったと後悔している。(30代女性・メディア関係者)
去年。支局の先輩記者が日常的に「●●※政党名」県議からセクハラを受けていたと聞いた。(20代男性・メディア関係者)
2023年、レッスン中に卑猥な言葉を使用、女性の胸の模型を女子生徒の前で揉みながら指導 2017年、飲み会の席にて裸で縛り上げれる 2016年、妻子持ちが生徒に手を出し浮気(20代女性・出演者)
答えたくないくらいたくさんあります。(50代男性・その他)
2010年頃。力のあるタレントから「最近いつセックスをしたのか」「それは気持ちよかったのか」など第三者がいる空間で話すことを強要された。(30代男性・メディア関係者)
かつては性的な発言は横行していた。 女性アナの接待もセクハラの一部ではないか。(40代男性・メディア関係者)
2020年6月～12月 演劇の先生・上司・演出家であった「●●※個人名」からレイプ被害を受けました(30代その他・出演者)
2010年代から、現在も公演が続いている劇団で、男性演出家が舞台袖で若い女性俳優にキスをするなどえぐい内容のことを、その舞台に出ていた別の俳優から聞いた。今も表に出していない。(30代女性・出演者)

<p>予定になかった露出（裸になってそれをカメラで撮られる）を男性監督から要求され、断ったがそれでもやれと言われ、最終的には女性スタッフが止めに入ってくれてなんとかやらずに済んだ(40代その他・出演者)</p>
<p>監督が女優をホテルに誘う。監督が女優に、バーのトイレでフェラしろと言い、やらないと罵倒され頭を何度も叩かれる。これはいずれも「●●※個人名」の話。実際の被害者から聞いた。(50代男性・その他)</p>
<p>セクハラが日常茶飯すぎて麻痺している。(20代女性)</p>
<p>タレントのマネージャーにセクハラを受けたという話は聞いたことがある。官僚による記者へのセクハラの話もありましたよね。(60代男性・メディア関係者)</p>
<p>2018～今日に至るまでクラブやフェスなどで同意なく身体を触られる、また打ち上げなどの場での性的な話題を持ち出されるなどのことがよくあります。(答えたくないその他・出演者)</p>
<p>これも常にどこの界限にもあります。当たり前すぎて語りきれないです。(30代女性・その他)</p>
<p>本意ではない衣装を着るように言われた。本意ではない撮影を強いられた。宿泊先の大浴場でスタッフが女湯の覗きをしたと公言していた。(40代女性・出演者)</p>
<p>2014～2018年ごろ、当時20代の同世代の女性ディレクターが社外で40～50代の男性プロデューサーから性的な誘いを受け困惑していた。(30代男性・メディア関係者)</p>
<p>ADだった80年代に女性社員に買われた(60代男性・メディア関係者)</p>
<p>2015年頃、飲み会で男性スタッフからセクハラ発言を受けた。また、男性スタッフの膝の上に乗るよう要求された。(30代女性・イベント関係者)</p>
<p>触られる、キスされる、抱きしめられる、などのセクハラを受けた。会社に報告しても揉み消された。(20代女性・メディア関係者)</p>
<p>2020年ごろ、劇団内の閉鎖的環境の中で、ハラスメント行為があったことを聞いた。(60代女性・出演者)</p>
<p>2017～2018年頃、飲み会の席で役員の男性から身体を寄せられたり、私の友人の性的な経験について聞くなどした。 また、同じ頃、アニメ実写化の映画に出演する俳優の1人を話題に出して「体付きが細くなく太くて良い」とコメントをした役員男性がいた。その会話はワンフロアの職場で大声で行われた。(30代その他・その他)</p>
<p>劇団ではよく聞く。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>2020年ごろ、打ち合わせ中に内容と関係無い性的な話を突然振られ、しばらく聞きたくもない話題を聞かされた。俳優への誹謗中傷も含まれていた。(30代男性・その他)</p>
<p>取材に行ったら、恋愛関係を持ちかけられて押し倒された。(50代女性・その他)</p>
<p>性暴力は減ってきたように思うが、セクハラ発言は映画ドラマの撮影現場では横行している。 「女は現場にも化粧してこい」「ブスだな」「太ってる女はいらない」など言われたことがある(30代女性・その他)</p>
<p>2018年ごろ、番組リポーターの面接で手ブラを強要された(30代女性・出演者)</p>
<p>2010年代後半から現在にかけ、いわゆる地下アイドルをめぐる、プロデューサーやイベンター・社長と寝る行為が横行していることを、元メンバーといった当事者の証言として幾度となく断続的に聞いた。(30代男性・メディア関係者)</p>

数限りなく、写真家に脱がされたとか、写真をとられて脅されたとか、朝呼び出されてレイプされ、さらに仕事の人に来るから帰れと放り出されたとか、複数人数にレイプされた等(40代女性・出演者)

2016年頃、劇場のスタッフによる出演俳優へのセクハラを目撃した。

2023年頃、あるウェブメディアの編集長による数年間におよぶ複数名へのセクハラと性暴力について耳にした。(20代女性・その他)

Q10. その他の経験

「その他、あなたが芸能・報道分野の仕事に携わる中で、経験したり目撃したりしたハラスメントや不当な営業行為、商行為などがあれば、可能な範囲で記入してください。」

(略)

Q11. 最近の芸能界や報道業界における問題提起や検証報道について

見る限り、業界の体質改善には繋がらないと思いました(60代男性・メディア関係者)
「●●※事務所名」だけでなく、他の組織においても事例はあるはずで、問題提起が広がり、改善が進むと良い。(40代男性・メディア関係者)
マスコミはいつも流行を追いかけて正義がない。(80代男性・事務所関係者)
テレビ各局による自前の検証報道だけでは不十分。第三者が入った形で調査を行い、旧来の慣行を改める具体的な方策をメディア横断的に打ち出し実施すべきだと考える。(50代男性・メディア関係者)
検証すると現在地位のある者が軒並み罪や責任を取る事になるのでやれないのが実情ではないか。第三者委員会か外部の調査でないと真相の究明は難しい。(40代男性・メディア関係者)
検証したとはいえないレベルものしか、まだ出ていないと感じる。自分も何か検証報道に貢献したい(40代女性・メディア関係者)
「●●※事務所名」への過度な依存、共犯関係について検証不足。現実はずっと癒着している。そこをつまびらかにしていない。金品の提供など。嵐が過ぎ去るのを待っていて、「●●※事務所名」依存は変わっていない。(50代女性・イベント関係者)
芸能エンタメ番組と報道番組とが同じ放送局に存在する時点で無理があると、改めて感じた。検証番組は横並び感が強かったが、それでも当事者から見ると、営業や編成の強い局、報道が強い局、などの濃淡はハッキリと見えた。(40代女性・出演者)
とことんまで検証してほしい。有名女性アイドルグループも性接待を強要されていると聞くので、国としてしっかりしたガイドラインを作るまで追求してほしい(50代男性・出演者)
良くぞやってくれたと思う反面、ジャニーさんの死後に欠席裁判的にしかやれなかったことの問題点を噛み締めています。(50代女性・メディア関係者)
局によっては、あまりに不十分。(60代男性・メディア関係者)
報道の分野については各社ある程度検証が進んでいると思うが、起用についての検証が甘いと思う。(50代女性・メディア関係者)
自社検証ではなく、BPOが検証すべきだ。(60代女性・その他)
例えば「●●※テレビ局名」では、「●●※事務所名」とやりとりできるのは一部の局幹部だけだった。喜多川氏の悪行はむろん知っているが、「必要悪」「芸能界じゃ当たり前」として看過していた。甘い汁を吸い合った人たちが、何をいまさら、と思う。ただ、自分もそのカルチャーに染まっていたと思う。(50代女性・メディア関係者)
自分がきちんと取り組めておらず面目ない気持ちがある。地方紙に何ができるかを考えている。(30代女性・メディア関係者)
まだまだ足りないし、組織内の意識改革は進んでいないと思う。(40代女性・メディア関係者)

<p>検証が甘い。ほかの事務所も同じ。テレビに「●●※事務所名」、「●●※事務所名」だらけ。歌番組に「●●※企業名」メドレーが必ず入る意味がわからない。(50代女性・その他)</p>
<p>芸能の世界もコンプラに則ったクリーンな世界になれば良いと思う。反面クリエイティブで実力主義な世界なので100%クリーンになることはないのかなとも思う。(30代女性・出演者)</p>
<p>報道機関の構造から課題を解決しないと、「●●※事務所名」だけトカゲの尻尾切りをしても意味がないと思う。他にも問題のある芸能事務所は沢山あると具体的な話を耳にする。だが、そちらの人々はお咎めなしになっている。(30代男性・その他)</p>
<p>報道も、当事者へのケアも、「●●※事務所名」の事象を顧みたまの自省も、あらゆる面で不十分だと感じています。多くの人が、何十年も放置していたことが、最大の悲劇だと思います。(40代男性・イベント関係者)</p>
<p>やっと業界の闇が明るみに出た印象(40代男性・イベント関係者)</p>
<p>ウミを出し切って欲しい(40代女性・メディア関係者)</p>
<p>業界内では当たり前だと思っていたことが一般にはそれほど知られていないのだということに驚いたものの、まずは知ってもらうこと、そして業界内の常識は歪んでいるのだと業界内で認識することが大事だと思っている。ただ過度に読者の目線でセンセーショナルに書き立てる報道の姿勢には疑問がある。ジャーナリズムとは異なるのではないか。(40代・出演者)</p>
<p>広く知ってもらう必要があると思う。ただ、表面をなぞるだけでわかりづらいものや、タレントコメンテーターに頼りすぎる部分も多い印象。報道している側にも問題があったかと思うが、その点についての報道がないように思う。(50代女性・メディア関係者)</p>
<p>あまりにも根が深いので、正直、伝える側(アナウンサーやキャスター)も非常につらいだろうと思う。自分たちも決して無縁ではないと分かっているからこそ、どんな態度で伝えればいいのか深く懊悩しているだろうと思います。(50代女性・その他)</p>
<p>生ぬるい。独裁オーナーによる大量レイプ事件なのに。(60代男性・イベント関係者)</p>
<p>「●●※事務所名」は突き抜けてるけど、ほかでもあるますよね。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>素晴らしいと思う。根絶されるまで他の事案も炙り出すべきだと思う。(40代男性・その他)</p>
<p>「●●※事務所名」以外の芸能事務所を業界全体の問題にメスが入るのか、「●●※事務所名」だけの問題に終わるのかに注目している。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>暗黙の了解だったことはやはり異常であったと改めて感じた。関わったことはないが自分自身もその暗黙に加担していたのだと反省した。(40代男性・メディア関係者)</p>
<p>「●●※事務所名」問題等は、芸の世界では昔は当たり前であったという見方も多く、業界全体が早急に解決させ、時が経つのを待っているような向きがあるように感じる。(40代女性・出演者)</p>
<p>被害者への配慮に欠けた報道があり、被害者が二次被害、3次被害に巻き込まれている。(30代男性・出演者)</p>
<p>「●●※事務所名」だけではない。平等な報道してほしい。加害者はあらゆる手で自分の都合なら良いようにシステム復帰している。(30代男性・出演者)</p>
<p>報道しないより良いけど、ジャニー喜多川氏のことは20世紀から噂はよく聞いていたので、マスクミ、特に放送局社員が知らなかったというのは絶対保身のための嘘だと思う。(50代男性・メディア関係者)</p>

私自身、まだトラウマがとれないため、ニュースに触れると、呼吸がくるしくなったり、目がはれたりした。とにかく、芸能の世界が、良くなる替わり目なのだと信じたい。(40代女性・出演者)

タレントに罪はないというけれど、圧倒的に有利な立場で出演していたのだから、不公平だと思うし、その点を自覚してほしい。報道は政治にも「●●※事務所名」にも忖度しすぎていて、見るべきニュース番組・新聞がない。(50代女性・メディア関係者)

良い動きだと思う、芸能界での性被害の話はたくさん聞くので、もっと取り扱われてほしい。二次加害がひどすぎる。職場でも家でも話題にされるので逃げ場がない(30代女性・イベント関係者)

「●●※事務所名」はジャニー喜多川という強い人が亡くなったから明るみに出たんだと思います。他にも性的搾取をしている事務所は沢山ありますよね？どうして報道されないんだろう？全ての膿を出さないと意味がないと思っています。(50代女性・出演者)

Q12. 芸能・報道分野で活動・仕事をする上で、不当な慣習だと思っていることや、今後改善されてほしいこと
(略)

【ポイント】

- ・「旧ジャニーズ事務所」以外にも、多くの団体・個人に関するハラスメントが継続的に存在してきた
- ・悪質なハラスメントや性暴力が存在しながらも、相談につながれず、対処できていない実態が多く存在していた
- ・大手事務所から他事務所や脱退タレント、事務所からメディア、メディアから事務所など、幅広い「圧力・忖度」事例が存在した
- ・「バーター」や「(他事務所への配慮などに基づく)出演拒否」、「形ばかりのオーディション」といった、不透明な商慣行が横行してきた
- ・メディア関係者や芸能関係者の少ない人々が、現在の検証では不十分であると回答していた
- ・とりわけ、「旧ジャニーズ事務所以外の団体」「テレビ以外のメディア」も含めた「横断的な調査」が必要であるとまとめられる意見が少なくなかった
- ・相談先や対応手段の手がかりが少ない現状の是正、業界風土の改善のためのガイドラインなど、広く対処が求められていた
- ・特に、「ジャニー喜多川氏問題」「旧ジャニーズ問題」に限定されることで、業界風土の改善が行われないことを危惧する声が多く観られた